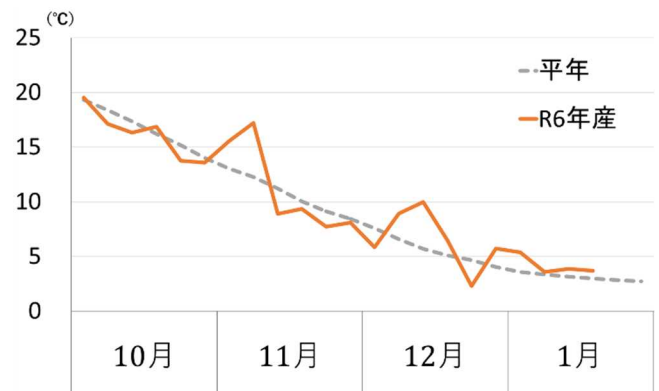


排水溝を点検し、溝さらえしましょう！

1 気象の経過と麦の生育状況

令和5年11月中旬は降雨がやや多くなり、播種時期にバラつきが見られました。

適期播種されたほ場では生育が旺盛ですが、播種が遅れたほ場では、播種直後の低温のため、生育がやや抑制されています。



R6年産 麦作期間の気温推移

2 排水対策を徹底的に実施しましょう！

- ・ 麦類は湿害に弱い作物です。土壌が過湿になると、酸素不足で根張りが悪くなり、施肥（穂肥）の効果が半減します。
- ・ 排水溝が水尻までつながっていないほ場や、溝の途中で滞水しているほ場では、湿害により莖数や穂数が減少し、減収する恐れがあります。
- ・ 今一度排水溝を点検し、崩れた箇所や深さの浅いところを溝さらえし、排水口までしっかりとつなぐようにしましょう。
- ・ ほ場に雪が積もった場合は、融雪後排水溝を点検し、滞水している場合は、溝さらえをしましょう。



畝から崩れ落ちた土塊を溝さらえし、滞水しないよう整備する



排水溝の浅いところを溝さらえし、水尻側が低くなるように勾配を付ける